



お酒と上手に付き合うために

お酒について 知って おきたいこと

20歳未満の者に飲酒をさせない



国税庁酒税課

20歳未満の者に 飲酒を勧めては いけません

意外に多い家庭での飲酒体験

20歳未満の者の飲酒が法律(二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律)で禁止されていることはよく知られているとおりです。

それにもかかわらず、20歳未満の者の飲酒問題は後を絶ちません。厚生労働省の研究事業による全国調査のデータでも、高校生の約29%、中学生の約16%に飲酒の経験があることが示されています。

20歳未満の者がお酒を飲むきっかけや機会はどこにあるのでしょうか? 前述の調査によっても、冠婚葬祭や家族と一緒にいることが多いことが示されています。

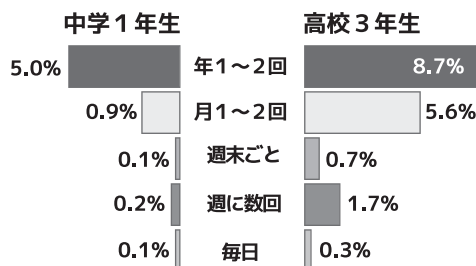
さらに、親にお酒を勧められたことのある子供の割合も多くなっています。

軽い気持ちは禁物

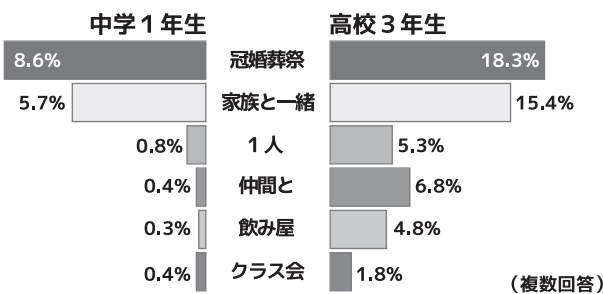
成長段階にある20歳未満の者はアルコールを分解する能力が未完成なため、20歳以上の者に比べ、飲酒によって心身に大きな悪影響を受けてしまいます。また、事故や事件を起こしたり、巻き込まれたりする危険性も高まります。

昔からの習慣で「お祝いの席だから」「一杯くらいいいだろう」と軽い気持ちで飲酒させたことが、やがて取返しのつかない結果を招く可能性もあります。脳の機能が低下する、臓器障害やアルコール依存症を起こしやすくなるなど、飲酒が20歳未満の者の心身に与える悪影響をきちんと教え、20歳未満の者の健全な育成を図ること。それは大人の責任です。

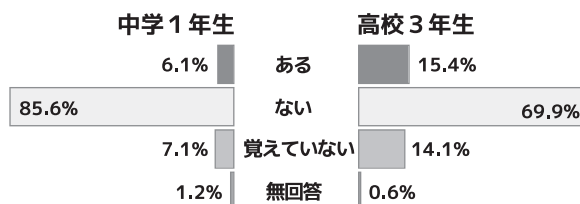
■飲酒頻度



■飲酒経験のあった機会



■親から酒を勧められた経験の有無



※平成29年度「飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究」(厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)を基に国税庁が作成

5 20歳未満の者が お酒を飲んで いけない 5つの理由

- ① 脳の機能を低下させます
- ② 肝臓をはじめとする臓器に障害を起こしやすくなります
- ③ 性ホルモンの分泌に異常が起きるおそれがあります
- ④ アルコール依存症になりやすくなります
- ⑤ 20歳未満の者を守るために飲酒を禁ずる法律があります

二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律(抄)(大正11年3月30日法律第20号)

第一条【二十歳未満の者に対する飲酒の禁止】

- ① 二十歳未満ノ者ハ酒類ヲ飲用スルコトヲ得ス
- ② 未成年者ニ対シテ親権ヲ行フ者若ハ親権者ニ代リテ之ヲ監督スル者未成年者ノ飲酒ヲ知りタルトキハ之ヲ制止スヘシ
- ③ 営業者ニシテ其ノ業態上酒類ヲ販売又ハ供与スル者ハ二十歳未満ノ者ノ飲用ニ供スルコトヲ知りテ酒類ヲ販売又ハ供与スルコトヲ得ス
- ④ 営業者ニシテ其ノ業態上酒類ヲ販売又ハ供与スル者ハ二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ防止ニ資スル為年齢ノ確認其ノ他ノ必要ナル措置ヲ講ズルモノトス

第三条【罰則】

- ① 第一条第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ五十万円以下ノ罰金ニ処ス
- ② 第一条第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ処ス

2022年4月から民法の成人年齢は18歳に引き下げられましたが、お酒に関する年齢制限については20歳のまま維持されています。

お酒をたしなむ 大人が 気をつけたいこと



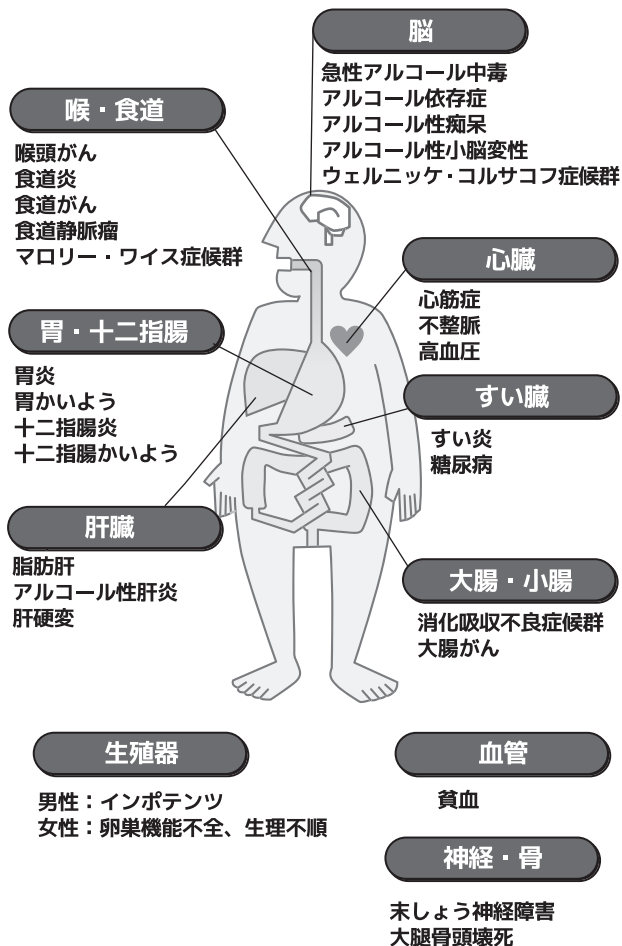
「百薬の長」と呼ばれるお酒も、飲み方や量を誤ると健康を害するだけでなく、時には生命の危険に関わることがあります。お酒をたしなむ方は、次のことに注意しましょう。

大量飲酒が引き起こす障害

過度の飲酒は肝臓に負担をかけ、脂肪肝、アルコール性肝炎、肝硬変などを起こすだけでなく、様々な臓器に障害をもたらし、生活習慣病のリスクが上がる可能性があります。



大量飲酒が引き起こす臓器の障害



イッキ飲みと急性アルコール中毒

飲酒によって体内に入ったアルコールは胃や小腸で吸収されて、血液中に入り、脳細胞に作用して「酔い」の状態を作り出します。短時間に大量のお酒を飲むと、血中アルコール濃度が急激に高まり、場合によっては呼吸中枢もマヒし、死に至るような危険な状態を引き起こします。これが急性アルコール中毒です。

死の危険がある急性アルコール中毒に直結するイッキ飲みは絶対するべきではありません。自分がしないのはもちろん、人にも決してさせないようにしましょう。

健康でお酒を楽しむために

適度にお酒を飲むことは、人とのコミュニケーションを円滑にしたり、ストレスを和らげたりします。

お酒を飲まれる場合は、「適正飲酒の10か条」を参考に、お酒を楽しんでいきましょう。

適正飲酒の10か条

- 1) 談笑し 楽しく飲むのが基本です
- 2) 食べながら 適量範囲でゆっくりと
- 3) 強い酒 薄めて飲むのがオススメです
- 4) つくろうよ 週に二日は休肝日
- 5) やめようよ きりなく長い飲み続け
- 6) 許さない 他人への無理強い・イッキ飲み
- 7) アルコール 薬と一緒に危険です
- 8) 飲まないで 妊娠中と授乳期は
- 9) 飲酒後の運動・入浴 要注意
- 10) 肝臓など 定期検査を忘れずに

(公益社団法人アルコール健康医学協会資料)



20歳未満の者の飲酒防止啓発ポスター



まだ飲まない選択
未来のために

20歳未満の飲酒は禁止!

20歳未満の者の飲酒は、脳の発達などに悪影響を及ぼし、健全な成長を妨げるのみならず、アルコール依存症になるおそれがあります。

4月は20歳未満飲酒防止強調月間です。

20歳未満の者の飲酒は法律で禁じられています。
2022年4月から民法の成年年齢は18歳に引き下げられましたが、
飲酒可能な年齢は20歳以上そのまま維持されています。
20歳未満の者の飲酒を防止するため、酒類小売店では年齢確認を実施しています。



国税庁、厚生労働省、こども家庭庁、警察庁、文部科学省、公益社団法人アルコール健康医学協会、全国小売酒販組合中央会、
日本チェーンストア協会、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会、一般社団法人日本ボランティアチェーン協会、
一般社団法人全国スーパーマーケット協会、一般社団法人酒類政策研究所



年齢確認にご協力ください

年齢確認などの実施は法律で定められています



当店では20歳以上の年齢であることを確認できない場合にはお酒を販売しません。

4月は20歳未満飲酒防止強調月間です。

20歳未満の者の飲酒を防止するため、酒類小売店では年齢確認を実施しています。
2022年4月から民法の成年年齢は18歳に引き下げられましたが、
飲酒可能な年齢は20歳以上そのまま維持されています。



国税庁、厚生労働省、こども家庭庁、警察庁、文部科学省、公益社団法人アルコール健康医学協会、全国小売酒販組合中央会、
日本チェーンストア協会、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会、一般社団法人日本ボランティアチェーン協会、
一般社団法人全国スーパーマーケット協会、一般社団法人酒類政策研究所



適正飲酒の推進ポスター

公益社団法人アルコール健康医学協会

適正飲酒の10か条



- 1 談笑し 楽しく飲むのが基本です
- 2 食べながら 適量範囲でゆっくりと
- 3 強い酒 薄めて飲むのがオススメです

- 4 つくろうよ 週に二日は休肝日
- 5 やめようよ きりなく長い飲み続け
- 6 許さない 他人への無理強い・イッキ飲み
- 7 アルコール 薬と一緒に危険です



- 8 飲まないで 妊娠中と授乳期は
- 9 飲酒後の運動・入浴 要注意
- 10 肝臓など 定期検査を忘れずに

しない させない 許さない 20歳未満飲酒・飲酒運転

出典：公益社団法人アルコール健康医学協会ウェブサイト
(<https://www.arukenkyo.or.jp/health/proper/index.html>)

飲酒運転の根絶ポスター



飲酒運転は絶対にしない！させない！

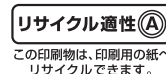
警察庁・都道府県警察



出典：警察庁ウェブサイト
(<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/insyu/info.html>)

税 国税庁

法人番号：7000012050002



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

令和7年2月

2022年4月から民法の成年年齢は18歳に引き下げられましたが、
お酒に関する年齢制限については20歳のまま維持されています。